

もっと行きたい（生きたい） 施設になるための園芸療法の実践



デイサービスセンター晴耕雨読舎
所長 石神洋一



自己紹介

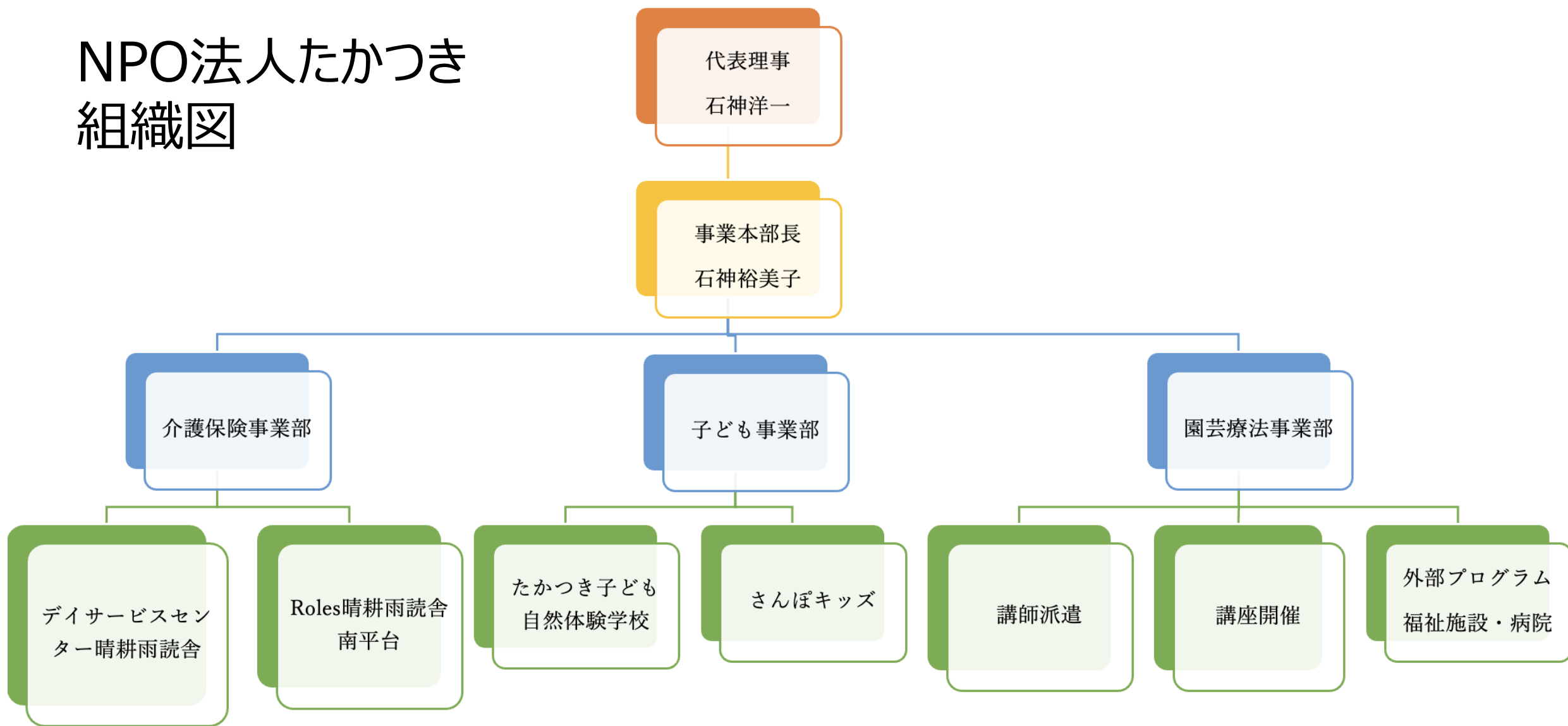
- 石神洋一
- 特定非営利活動法人たかつき 代表理事（2001年5月～）
- デイサービスセンター晴耕雨読舎（介護保険通所介護事業所） 所長（2007年12月～）
- 日本園芸福祉普及協会 理事（2001年～）
- 日本園芸療法学会認定 園芸療法士
- 2020－21年度日本園芸療法学会大会 大会長
- 岐阜県立 国際園芸アカデミー 非常勤講師
- 甲子園短期大学 非常勤講師
- 京都福祉専門学校非常勤講師
- 1970年生まれ



ノウフクアワード チャレンジ賞 表彰



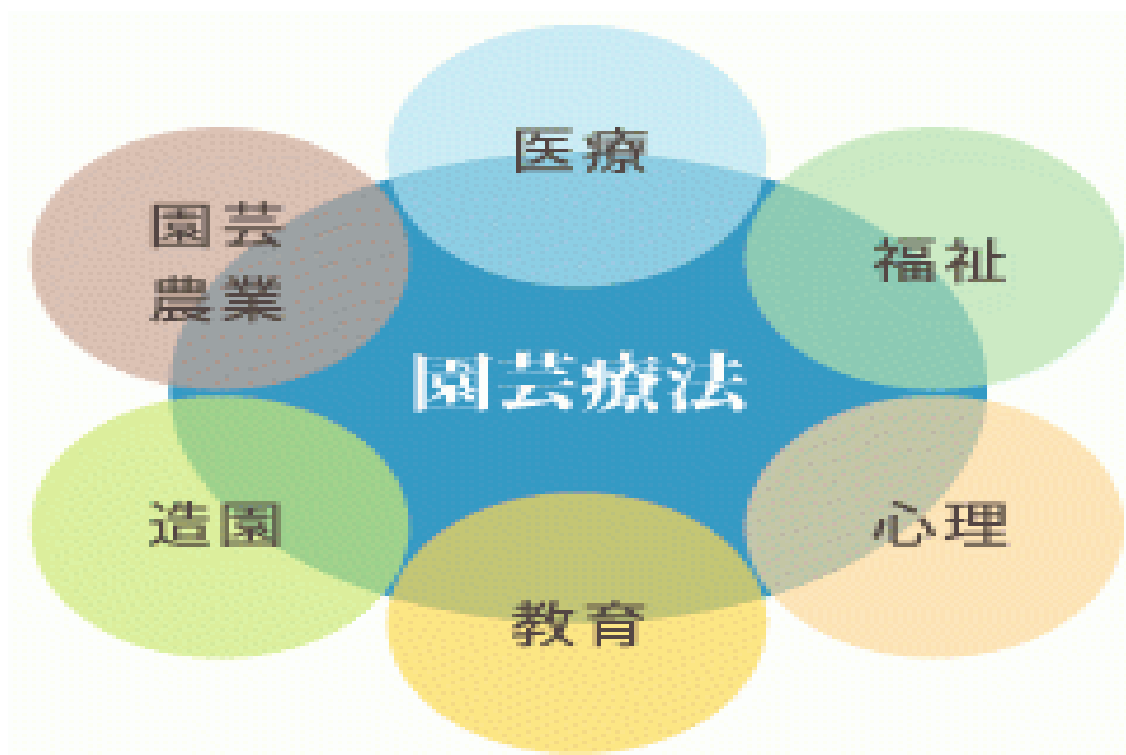
NPO法人たかつき 組織図



園芸療法とは

園芸療法とは、“花と緑で人を癒す”療法です。
いいかえると、草花や野菜などの園芸植物や、身の回りにある自然とのかかわりを通して、心の健康、体の健康、社会生活における健康の回復を図る療法といえます。

※兵庫県立淡路景観園芸学校ホームページより



デイサービスセンター晴耕雨読舎

対象者：要支援～要介護高齢者

開所日：月～土（祝日も開所）

開所年月：2007年12月

利用者数：定員22名（男性：女性 5：5）

平均介護度：1.5

サービス提供時間：9時30分～4時45分（7－8時間）

スタッフ：管理者・生活相談員・看護師・介護職員 7-8名/日







晴耕雨読舎 園芸療法の目的

①生きがいつくり

やりたいこと、役割、大切な人間関係、楽しみがある

②心身機能維持・向上

心と体を動かすことによる機能の維持向上



晴耕雨読舎方針

★利用者さんのやりたいことをやっていただく

★利用者さんができることはできるだけ自分でやっていただく



取り組みの工夫

①「自分の畑」をもつ

自分の畑をもち、そこで自由につくりたいものをつくることが、意欲の向上に役立つ



取り組みの工夫

②「使える」ものを作る

なにかの役にたつ、誰かのためになる、
持って帰ると家族が喜ぶ、など、意味のあるもの、役に立つもの、生活に密着した
使えるものを作ることが意欲につながる





大工療法??





縄ない



取り組みの工夫

③「自分でできる」環境がある

活動に自らの力で参加でき、やりとげることが生きがいになります。できるだけ人の手を借りずに、自らの力で活動参加できる環境づくりを工夫しています





設備レイズドベッド



レイズドベッド



自分の畑

園芸療法で大切にしていること

心が動く→体を動かす



ご清聴 ありがとうございました

特定非営利活動法人たかつき
大阪府高槻市原 2 2 3 5 番地
<https://npo-takatsuki.org/>

Instagram
フォローお願いします！！



@ISHIGAMI_YUMIKO